

区分	科目名	到達目標	到達目標達成度						
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効	
教養	無意識の世界	到達目標1	教育や福祉の問題を探究するための研究方法を習得する。	43%	29%	24%	5%	0%	0%
		到達目標2	質的・量的データの収集方法を習得する。	43%	38%	19%	0%	0%	0%
		到達目標3	統計学的なデータ処理について修得する。	48%	38%	14%	0%	0%	0%
	国際政治と子どもたち	到達目標1	国際政治における子どもたちという視点から、国際的な問題に関する基礎的な知識について学び、一般的な教養を深める。	88%	10%	3%	0%	0%	0%
		到達目標2	将来、子どもに関わる職業を目指す学生として、国際政治の中の絶対的弱者である子どもをめぐる現状について理解と関心を深める	85%	13%	3%	0%	0%	0%
		到達目標3	国際的な問題と日本、または私たちの日々の生活との関連性について理解し、当事者意識を養う	85%	13%	3%	0%	0%	0%
	現代文化論	到達目標1	アイドルの表象の分析を通して、1960年代から現代に至る日本の文化や社会を理解する。	76%	24%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2	アイドルが体現する男性性・女性性を相対化するために、フェミニズムやメディア研究と架橋させながら、アイドルを鑑賞・分析する視点を獲得する。	80%	12%	8%	0%	0%	0%
		到達目標3	分析対象としてのアイドルに対して、自分なりの考察（プレゼンテーション）を行うことができる。	72%	20%	8%	0%	0%	0%
	環境と健康	到達目標1	人を取り巻く環境と健康の関わり、大気汚染や温暖化などの環境問題についての理解を深める。	70%	27%	0%	3%	0%	0%
		到達目標2	環境にやさしい生活、健康生活の重要性を理解し、環境や健康に配慮した生活のあり方を探る。	70%	27%	3%	0%	0%	0%
	知的生活の探求	到達目標1	各自が生きている故郷・世界・時代について理解を広げる。	62%	15%	11%	5%	4%	4%
		到達目標2	1を通じて、各自の生活や将来への考察を深める。	60%	18%	11%	2%	4%	5%
		到達目標3	専門科目を学ぶ基礎としての「教養」的あり方を養う。	60%	18%	11%	2%	4%	5%
	情報科学	到達目標1	データサイエンスの概要を理解する。	70%	17%	13%	0%	0%	0%
		到達目標2	データサイエンスに基づいて簡単なデータ処理ができるようになる	61%	26%	9%	4%	0%	0%
		到達目標3	データサイエンスによってつくられる近未来社会での生き方を考えられるようになる。	61%	17%	17%	4%	0%	0%
	児童文化・文学論	到達目標1	子どもと児童文化との関係について考察する。	76%	24%	0%	0%	0%	0%
到達目標2		具体的な児童文学作品の分析をとおしてその教育的意義を考察する。	36%	20%	0%	0%	0%	44%	
外国語	英語B	到達目標1	これまでの英語教育で学んだ基礎をもう一度確認し、使える英語、伝わる英語として発展させる。	63%	19%	9%	6%	3%	0%
		到達目標2	実際のコミュニケーションで役に立つ表現を身につける。	66%	18%	9%	3%	4%	0%
		到達目標3	試験対策 TOEIC(英語によるコミュニケーション能力判定試験)などの英語試験の知識を深め、対応できる英語力を養う。	59%	24%	9%	4%	4%	0%

区分	科目名	到達目標	到達目標達成度					
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効
学際	食文化論	到達目標1 食文化の特徴、歴史を理解する。	78%	22%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2 食文化形成のプロセスを理解する。	67%	22%	0%	0%	0%	11%
		到達目標3 西洋料理に使用される食材などの特徴を理解する	78%	11%	0%	0%	0%	11%
		到達目標4 現代の食文化の変化を理解する。	78%	11%	0%	0%	0%	11%
卒業要件	社会人基礎力育成講座Ⅰ	到達目標1 生活拠点の”山梨”を知る。	45%	41%	12%	3%	0%	0%
		到達目標2 知的好奇心や探究心を持って学ぶ姿勢を形成する。	46%	42%	9%	3%	0%	0%
		到達目標3 現代社会を生きる上での見識や幅広い視野を獲得する。	51%	40%	8%	1%	0%	0%
		到達目標4 人や社会に対する奉仕的精神や倫理観を養う。	53%	35%	12%	1%	0%	0%
		到達目標5 地域社会の課題をとらえ、その解決に創造的に取り組む力を形成する。	54%	36%	8%	1%	1%	0%
	社会人基礎力育成講座Ⅱ	到達目標1 生活拠点の”山梨”を知る。	61%	34%	0%	3%	0%	3%
		到達目標2 知的好奇心や探究心を持って学ぶ姿勢を形成する。	61%	32%	5%	0%	0%	3%
		到達目標3 現代社会を生きる上での見識や幅広い視野を獲得する。	61%	32%	4%	1%	0%	3%
		到達目標4 人や社会に対する奉仕的精神や倫理観を養う。	57%	33%	6%	0%	0%	4%
		到達目標5 地域社会の課題をとらえ、その解決に創造的に取り組む力を形成する。	53%	37%	8%	0%	0%	3%

区分	科目名	到達目標	到達目標達成度							
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効		
社会生活と健康	公衆衛生学総論A	到達目標1	公衆衛生活動の基本であるプライマリヘルスケア（ヘルスプロモーション）を理解する。～人々が自らの健康をコントロールし、改善する事が出来るようにするプロセス～の大切さ	27%	42%	13%	10%	4%	4%	
		到達目標2	それぞれの施策（県・保健所・市町村の事業）に応じた公衆衛生活動を学ぶ。（目的・手段・責任）など	31%	44%	10%	8%	4%	4%	
		到達目標3	生活習慣病等の増加による疾病を学び、人々の生涯にわたる健康づくり（の大切さ）について学習する	31%	44%	8%	10%	4%	4%	
人体の構造と機能	栄養生理学	到達目標1	口とは何故「食する」のかを理解し、「食生活」の向上に貢献するために必要な栄養素に関する基礎知識を取得する。	42%	51%	5%	2%	0%	0%	
		到達目標2	食品の加工特性や成分変化に関する知識を習得し、加工品の製造を理解できる。	42%	53%	5%	0%	0%	0%	
		到達目標3	日大栄養素に関する消化・吸収・代謝のメカニズムを、分子レベルで理解する。	40%	49%	9%	2%	0%	0%	
		到達目標4	栄養摂取をヒトの体内での様々な化学反応としてとらえ、「食する」行為の根本的な意味を科学的に捉える。	40%	51%	7%	2%	0%	0%	
		到達目標5	食や健康に関する情報が溢れる中で、栄養士として正しくかつ必要不可欠な情報を選択できる考え方を身につける。	45%	45%	7%	2%	0%	0%	
	栄養生理学実験	到達目標1	初歩的な実験手技を習得し、主体的に実験操作に取り組むことができる。	61%	39%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標2	消化管の構造と働き、消化酵素について説明することができる。	46%	48%	5%	0%	0%	0%	
		到達目標3	栄養素が体の機能に与える影響について説明することができる。	39%	50%	2%	0%	0%	9%	
		到達目標4	実験結果や考察等をまとめ、適切なレポートを作成することができる。	39%	43%	7%	2%	0%	9%	
	運動生理学(A)(B)	到達目標1	専門職として働く場に注目し、健康維持・増進の意味を正しく理解し説明できる。	51%	45%	4%	0%	0%	0%	
		到達目標2	運動・栄養・休養が健康維持・増進に関わることについて説明できる。	49%	45%	4%	2%	0%	0%	
		到達目標3	日常の消費エネルギーの測定法を説明できる。	53%	43%	2%	2%	0%	0%	
		到達目標4	自分の身体組成を説明できる。	66%	30%	4%	0%	0%	0%	
		到達目標5	体力テストの方法と結果の評価について説明できる。	60%	38%	0%	2%	0%	0%	
		到達目標6	健康を高めるための運動処方を作成方法を説明できる。	45%	53%	2%	0%	0%	0%	
		到達目標7	健康維持・増進を目的とした栄養と競技スポーツの栄養との違いを説明できる。	43%	47%	6%	4%	0%	0%	
	生化学実験(A)	到達目標1	生化学実験に必要な基礎知識と試料、器具、試薬の正しい作り方・使い方、基本操作について理解する。	79%	17%	4%	0%	0%	0%	
		到達目標2	動・植物組織を試料として、生体成分の分離法と分析方法を経験する。	71%	17%	8%	4%	0%	0%	
		到達目標3	生体特有の物質である酵素の性質と機能について、代表的な酵素であるアミラーゼを通して理解する。	67%	25%	4%	0%	4%	0%	
	生化学実験(B)	到達目標1	生化学実験に必要な基礎知識と試料、器具、試薬の正しい作り方・使い方、基本操作について理解する。	69%	27%	4%	0%	0%	0%	
		到達目標2	動・植物組織を試料として、生体成分の分離法と分析方法を経験する。	65%	31%	4%	0%	0%	0%	
		到達目標3	生体特有の物質である酵素の性質と機能について、代表的な酵素であるアミラーゼを通して理解する。	69%	27%	4%	0%	0%	0%	
	食品と衛生	食品学実験(A)	到達目標1	実験に必要な基礎知識を習得し、実験器具の基本操作ができる。	61%	36%	4%	0%	0%	0%
			到達目標2	食品の化学的性質や成分変化について学習し、定性、定量分析が行える。	57%	43%	0%	0%	0%	0%
			到達目標3	食品の品質評価、物性の知識を習得し、鮮度判別や物性測定に興味を持てた。	64%	32%	4%	0%	0%	0%
		食品学実験(B)	到達目標1	実験に必要な基礎知識を習得し、実験器具の基本操作ができる。	56%	44%	0%	0%	0%	0%
			到達目標2	食品の化学的性質や成分変化について学習し、定性、定量分析が行える。	48%	44%	0%	8%	0%	0%
到達目標3			食品の品質評価、物性の知識を習得し、鮮度判別や物性測定に興味を持てた。	56%	32%	8%	4%	0%	0%	
食品学各論(A)(B)		到達目標1	食品の種類や取り扱いについて学び、各種食品の特徴を理解できる	38%	61%	0%	0%	0%	2%	
		到達目標2	食品の加工特性や成分変化に関する知識を習得し、加工品の製造を理解できる。	38%	57%	2%	2%	0%	2%	
		到達目標3	食品の規格や表示に関する知識を習得し、食品表示の記載事項を読み取ることができる。	32%	63%	4%	0%	0%	2%	
栄養学各論(A)(B)	到達目標1	ライフステージ別に、生理的・身体的特徴をふまえて、食事の管理を中心とした栄養管理を実践するための理解ができる。	54%	45%	0%	2%	0%	0%		
	到達目標2	栄養学の専門的な知識を活用し、健全な発育・発達、健康の維持・増進、疾病予防のための知識を修得できる。	53%	45%	2%	0%	0%	0%		
	到達目標3	各ライフステージの栄養上の特性を理解し栄養アセスメントと栄養ケアについて修得できる。	50%	48%	2%	0%	0%	0%		
	到達目標4	栄養・食に関するリスクを理解し緊急時の食事管理を中心とした栄養管理を修得できる。	54%	39%	7%	0%	0%	0%		
	到達目標1	ライフステージ別に、生理的・身体的特徴をふまえて、食事の管理を中心とした栄養管理を実践するための知識・技術を修得する。	65%	35%	0%	0%	0%	0%		

栄養と健康	栄養学各論 実習 (A)	到達目標2	栄養学の専門的な知識を活用し、健全な発育・発達、健康の維持・増進、疾病予防のための知識・技術を修得する。	58%	38%	4%	0%	0%	0%	
		到達目標3	食事の管理を中心とした適切な栄養管理のために、対象者の特性を理解し、適切な食事計画を立案し、食事の提供ができる。	54%	42%	4%	0%	0%	0%	
		到達目標4	実習やグループ活動を通し、対象者に配慮した食事計画および調理ができる。	65%	35%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標1	ライフステージ別に、生理的・身体的特徴をふまえ、食事の管理を中心とした栄養管理を実践するための知識・技術を修得する。	71%	25%	4%	0%	0%	0%	
	栄養学各論 実習 (B)	到達目標2	栄養学の専門的な知識を活用し、健全な発育・発達、健康の維持・増進、疾病予防のための知識・技術を修得する。	67%	29%	4%	0%	0%	0%	
		到達目標3	食事の管理を中心とした適切な栄養管理のために、対象者の特性を理解し、適切な食事計画を立案し、食事の提供ができる。	71%	29%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標4	実習やグループ活動を通し、対象者に配慮した食事計画および調理ができる。	75%	17%	8%	0%	0%	0%	
		到達目標1	臨床現場における栄養士の役割と意義について説明することができる。	50%	50%	0%	0%	0%	0%	
	臨床栄養学 総論 (A) (B)	到達目標2	栄養アセスメント、栄養ケアプランの作成、栄養補給法の特徴について説明することができる。	65%	35%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標3	食事調査結果を踏まえて栄養指導案を作成し、プレゼンの形にまとめ、発表することができる。	48%	43%	6%	4%	0%	0%	
		到達目標1	食事調査の意義と目的について説明できる	62%	27%	12%	0%	0%	0%	
	栄養の指導	栄養指導実習 (A)	到達目標2	個人別の食事摂取基準および食品構成を求めることができる	50%	38%	12%	0%	0%	0%
到達目標3			栄養教育の目標設定および指導案を作成することができる	69%	19%	8%	4%	0%	0%	
到達目標4			指導対象およびテーマに応じた指導教材を作成することができる	62%	27%	8%	4%	0%	0%	
到達目標5			指導計画にそって栄養教育を実践できる	62%	27%	12%	0%	0%	0%	
到達目標1			食事調査の意義と目的について説明できる	68%	28%	4%	0%	0%	0%	
栄養指導実習 (B)		到達目標2	個人別の食事摂取基準および食品構成を求めることができる	60%	36%	4%	0%	0%	0%	
		到達目標3	栄養教育の目標設定および指導案を作成することができる	72%	20%	4%	4%	0%	0%	
		到達目標4	指導対象およびテーマに応じた指導教材を作成することができる	64%	28%	8%	0%	0%	0%	
		到達目標5	指導計画にそって栄養教育を実践できる	56%	40%	4%	0%	0%	0%	
		公衆栄養学 (A)	到達目標1	日本人の食事摂取基準の沿革や概要・活用法を理解する	40%	40%	8%	4%	8%	0%
到達目標2			国民健康・栄養調査の概要や調査結果がわかる	36%	52%	0%	0%	4%	8%	
公衆栄養学 (B)		到達目標1	日本人の食事摂取基準の沿革や概要・活用法を理解する	39%	48%	9%	4%	0%	0%	
		到達目標2	国民健康・栄養調査の概要や調査結果がわかる	30%	61%	4%	4%	0%	0%	
給食の運営		調理の基本 II	到達目標1	中国料理の特色や調理特性や食材の特徴を理解し、献立への応用力を身につける。	56%	37%	6%	0%	2%	0%
			到達目標2	栄養士として調理作業の処理能力を高め、実践力を習得する。	52%	39%	7%	2%	0%	0%
			到達目標3	一流調理人の洗練された技と知識を学び、料理技術を理解する。	48%	46%	6%	0%	0%	0%
			到達目標4	調理理論を裏づけし能力を的確に学習し応用・創作能力をも身に付ける。	48%	44%	7%	0%	0%	0%
		応用調理実習 II	到達目標1	栄養士として必要な調理技術の完成。	58%	36%	4%	0%	0%	2%
	到達目標2		現場に活かせる調理技術の応用力を身につける。	58%	30%	6%	4%	0%	2%	
	到達目標3		食物アレルギーに対応する調理技術の習得。	68%	25%	6%	0%	0%	2%	
	到達目標4		地場産物の知識習得とそれを利用した調理法の習得。	62%	30%	6%	0%	0%	2%	
	給食運営実習 I (A) (B)	到達目標1	専門職として働く場でコンピュータを活用することに注目し、応用操作、処理できるようになる。	60%	34%	6%	0%	0%	0%	
		到達目標2	ワードを使って帳簿が作成できる。	64%	25%	9%	2%	0%	0%	
		到達目標3	エクセルを使って表作成と集計処理ができる。	64%	30%	4%	2%	0%	0%	
		到達目標4	献立作成ソフトを使って栄養価が算出できる。	66%	28%	4%	2%	0%	0%	
		到達目標5	ワードを使って栄養教育媒体が作成できる。	62%	34%	2%	2%	0%	0%	
		到達目標6	パワーポイントを使って栄養指導教材が作成できる。	60%	34%	6%	0%	0%	0%	
	発展科目	食品加工学 実習	到達目標1	加工食品製造の流れや技術を学び、加工製品を完成できる。	89%	11%	0%	0%	0%	0%
			到達目標2	温度管理や発酵法、貯蔵法の知識は、加工食品への興味を深めることができる。	89%	11%	0%	0%	0%	0%
			到達目標3	加工食品の包装形態や保存技術が理解できる。	83%	17%	0%	0%	0%	0%
			到達目標4	食品原料や加工製品における、適切な品質評価ができる。	83%	17%	0%	0%	0%	0%

区分	科目名	到達目標	到達目標達成度					
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効
公衆衛生学	公衆衛生学 総論	到達目標1 公衆衛生行政についての基礎を理解する。	33%	44%	0%	11%	6%	6%
		到達目標2 衛星統計について基本的な知識を習得する。	22%	56%	0%	11%	6%	6%
		到達目標3 公衆衛生の立場に立った疾病予防、対策を理解する。	22%	56%	0%	11%	6%	6%
食品学	食品学各論	到達目標1 食品の変質について理解する	79%	11%	11%	0%	0%	0%
		到達目標2 食品の保存方法を知る	74%	16%	11%	0%	0%	0%
		到達目標3 日本の食料自給率の推移と現状を理解する	58%	26%	16%	0%	0%	0%
		到達目標4 日本の食品生産（有機農産物、遺伝子組み換え食品）について理解する	61%	22%	17%	0%	0%	0%
食品衛生学	食品衛生学 各論Ⅰ	到達目標1 食品添加物の種類や使用および表示方法を理解する。	62%	29%	5%	5%	0%	0%
		到達目標2 食品添加物の和・洋菓子、製パンへの利用法を知る。	48%	43%	5%	5%	0%	0%
		到達目標3 菓子と食中毒について理解する	48%	43%	5%	5%	0%	0%
		到達目標4 食品中の有害物質とその危険性を理解する	62%	24%	10%	5%	0%	0%
		到達目標5 食品による感染症や寄生虫症を理解する	48%	43%	5%	5%	0%	0%
		到達目標6 食品中の異物混入とその予防対策を理解する	62%	24%	10%	5%	0%	0%
		到達目標7 食品の安全性を自ら考え、実行するための基本を身につける	71%	14%	10%	5%	0%	0%
栄養学	栄養学各論	到達目標1 食事摂取基準の策定方針、対象者、指標の目的と種類を理解する	62%	29%	10%	0%	0%	0%
		到達目標2 国民健康・栄養調査の結果、食事調査、体組成測定をとおして食生活や身体活動について自身の問題点を知る	62%	33%	5%	0%	0%	0%
		到達目標3 ライフステージに関わる栄養の特徴について理解する	67%	24%	10%	0%	0%	0%
		到達目標4 生活習慣病について疾患の予防や成り立ち、食生活との関連について理解する	67%	24%	10%	0%	0%	0%
		到達目標5 菓子類や清涼飲料水の特徴について理解する	67%	19%	14%	0%	0%	0%
		到達目標6 栄養成分表示について理解し、表示を活用する	76%	19%	5%	0%	0%	0%
製菓理論	製菓理論Ⅱ (製パン)	到達目標1 パンの基本的な製造工程を理解する。	85%	15%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2 製パンに関わる発酵の科学について学ぶ。	85%	15%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3 パンの歴史や変遷について理解する。	85%	15%	0%	0%	0%	0%
		到達目標4 世界のパンについて知識を深める。	85%	15%	0%	0%	0%	0%
	製菓専門理論	到達目標1 洋菓子の歴史や変遷について理解する。	85%	5%	10%	0%	0%	0%
		到達目標2 洋菓子の原材料について知識を深める。	80%	15%	5%	0%	0%	0%
製菓実習	製菓基礎 実習Ⅱ(製パン)	到達目標1 ソフト系パン製造の基本的な技術を習得することができましたか。	85%	15%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2 ハード系パン製造の基本的な技術を習得することができましたか。	85%	15%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3 スイーツ系パン製造の基本的な技術を習得することができましたか。	85%	15%	0%	0%	0%	0%
	製菓専門実習Ⅰ(洋菓子)	到達目標1 様々な洋菓子の生地作りを学ぶ。	90%	10%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2 洋菓子に関する高度な技術を学び、応用力を養う。	80%	15%	0%	5%	0%	0%
	製菓専門実習Ⅲ(和菓子)	到達目標1 和菓子の技術を高め、応用力を養う。	80%	20%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2 四季折々の上生菓子について学習し、それらの製造技術を習得する。	80%	20%	0%	0%	0%	0%
	製菓特別実習Ⅰ	到達目標1 製菓・製パンの技術を高める。	94%	0%	0%	0%	6%	0%
		到達目標2 様々な菓子を総合的に仕上げる力を養う。	100%	0%	0%	0%	0%	0%
発展科目	製菓特別実習Ⅱ	到達目標1 果樹を中心とした山梨県産農産物の理解を深める。	63%	21%	11%	0%	0%	5%
	スイーツ ショップ 実習	到達目標1 業務用規模でスイーツを製造・販売する	85%	10%	5%	0%	0%	0%
		到達目標2 安心安全なスイーツをお客様に提供する	80%	20%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3 店舗運営の一連の流れを身につけ、実践力を高める	80%	15%	5%	0%	0%	0%

区分	科目名	到達目標	到達目標達成度						
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効	
教育・福祉の基礎理論	教育職論	到達目標1	自己の教師像を確立する。	76%	24%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2	教職の特質・責任・専門性を理解する。	80%	20%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3	教師として生涯学習するための土台となる知識・技能を習得する。	72%	28%	0%	0%	0%	0%
	子ども家庭福祉	到達目標1	わが国の児童福祉法の成立過程を理解し説明することができる。	72%	21%	6%	0%	0%	0%
		到達目標2	児童福祉法の内容と児童虐待の実態と対応策について、理解を深め自ら説明できる。	74%	19%	6%	0%	1%	0%
		到達目標3	子ども家庭福祉の実施体制と法体系が関連付けて説明ができる。	70%	21%	6%	1%	1%	1%
	発達心理学Ⅱ	到達目標1	様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解する。	76%	21%	3%	0%	0%	0%
		到達目標2	主体的学習を支える動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連付けて理解する。	79%	17%	2%	2%	0%	0%
		到達目標3	幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。	77%	19%	2%	2%	0%	0%
	臨床心理学	到達目標1	カウンセリングの諸理論の基礎を理解する。	82%	18%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2	ピアヘルピングの方法とピアヘルパーの基本態度を理論的かつ体験的に習得する。	73%	27%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3	青年期特有の心理的課題に関連するピアヘルピングの活動領域の様相を理解する。	73%	27%	0%	0%	0%	0%
	特別支援教育論	到達目標1	発達障害を含む特別の支援を必要とする児童の障害の特性及び心身の発達を理解する	85%	12%	0%	4%	0%	0%
		到達目標2	特別の支援を必要とする児童に対する教育課程を理解する	88%	8%	4%	0%	0%	0%
		到達目標3	特別の支援を必要とする児童に対する支援の方法を理解する	85%	15%	0%	0%	0%	0%
		到達目標4	障害はないが特別の教育的ニーズのある児童の学習上又は生活上の困難とその対応を理解する	81%	15%	4%	0%	0%	0%
教育・保育の計画・指導法	教育課程論	到達目標1	教育課程の意義及びその編成の方法について理解するとともに、教育課程を適切に計画・実施・評価し教育の質の向上を図ることの意義と方法を理解する。	71%	21%	7%	0%	0%	0%
	保育課程論	到達目標1	保育の計画と評価が保育内容の充実を図り、保育の質の向上に資することを理解し、その仕組みが説明できる。	77%	20%	3%	0%	0%	0%
		到達目標2	幼稚園と保育所、認定こども園の計画の特性の違いを説明できる。	79%	18%	3%	0%	0%	0%
		到達目標3	具体的な指導計画の作成方法、またその実施および評価、そしてそれらを踏まえた改善の在り方について自分の意見が表現できる。	74%	24%	2%	0%	0%	0%
	家庭科教育法	到達目標1	家庭科教育の意義、目標を理解する。	78%	22%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2	家庭科の各学習領域の目標および内容について理解する。	83%	17%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3	家庭科の指導方法について理解し、教育実践力を身につける。	78%	11%	11%	0%	0%	0%
		到達目標4	教育評価のあり方とその方法を修得する。	78%	17%	6%	0%	0%	0%
	保育内容総論	到達目標1	この教科の到達目標1. 保育所保育指針における「保育の目標」「子どもの発達」「保育内容」等、さまざまな保育知を関連付け、系統だてることができる。	77%	19%	3%	1%	0%	0%
		到達目標2	子どもの発達特性や発達過程を理解した上で、保育実践の中で子どもを適切に捉え、その把握の様子を説明することができる。	74%	21%	4%	1%	0%	0%
		到達目標3	具体的な保育実践をもとに、保育の基本を踏まえた援助方法に関して自身の考えを表現できる	76%	21%	2%	1%	0%	0%
	保育内容音楽表現	到達目標1	音楽表現活動の意義とねらいについて理解する	60%	40%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2	幼児教育における学びを理解し、発達段階に適した音楽表現活動計画を立案できるようにする	52%	44%	4%	0%	0%	0%
		到達目標3	子どもの歌やわらべうた、楽器の種類や特徴について学び、保育及び教育の現場で活用できるようにする	58%	40%	0%	2%	0%	0%
	保育内容造形表現	到達目標1	造形活動における感性と表現行為の構造を理解する	67%	24%	6%	1%	1%	1%
		到達目標2	各発達段階の造形表現の特徴とその意味を理解する	62%	28%	7%	2%	1%	0%
到達目標3		表現技法の基本とその応用方法を身につける	59%	30%	6%	2%	1%	1%	
到達目標4		造形表現活動の役割と総合性を理解する	62%	29%	6%	1%	1%	1%	
保育内容身体表現	到達目標1	表現活動の意義やねらいについて理解し、指導実践を通して身体表現活動の理解を深める	83%	16%	1%	0%	0%	0%	
	到達目標2	身体表現の活動内容及び指導内容と段階を知り、身体表現活動の指導法を深める	81%	18%	1%	0%	0%	0%	
	到達目標3	幼児の身体活動が、他の領域や多様な動きとのかかわりが深く、総合的な活動であることを理解する	85%	13%	2%	0%	0%	0%	
インクルーシブ保育Ⅱ	到達目標1	障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解している。	61%	35%	2%	1%	0%	0%	
	到達目標2	障害児その他の特別な配慮を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協働について理解している。	60%	37%	2%	1%	0%	0%	
	到達目標3	障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解している。	64%	30%	5%	1%	0%	0%	
	到達目標1	保育の計画と評価が保育内容の充実を図り、保育の質の向上に資することを理解し、その仕組みが説明できる。	73%	25%	2%	0%	0%	0%	

乳児保育 I	到達目標2	幼稚園、保育所、認定こども園といった各園の特性の違いや子どもの年齢・発達状況や個人差などの理解に基づき、指導計画を作成することができる。	72%	27%	2%	0%	0%	0%	
	到達目標3	具体的な指導計画の作成方法、またその実施および評価、そしてそれらを踏まえた改善の在り方やその実施方法について、自分の意見を表明することができる。	70%	26%	4%	0%	0%	0%	
	子どもの食と栄養 (α・γ)	到達目標1	健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的内容を説明できる	63%	29%	4%	3%	1%	0%
		到達目標2	子どもの発育・発達と食生活の関連について説明できる	62%	32%	4%	3%	0%	0%
		到達目標3	食育の基本とその内容及び食育のための環境、地域社会・文化との関わりについて説明できる	58%	35%	4%	1%	0%	1%
		到達目標4	家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について説明できる	59%	34%	5%	1%	0%	0%
		到達目標5	特別な配慮（食物アレルギーの対応等）を要するこどもの食と栄養について説明できる	62%	32%	5%	1%	0%	0%
	子どもの食と栄養 (β・δ)	到達目標1	健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的内容について説明することができる。	55%	33%	8%	4%	1%	0%
		到達目標2	子どもの発育・発達と食生活の関連について説明することができる。	58%	31%	8%	1%	3%	0%
		到達目標3	食育の基本とその内容及び食育のための環境を地域社会・文化との関わりについて説明することができる。	55%	31%	10%	1%	3%	0%
到達目標4		家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について説明することができる。	49%	39%	9%	1%	3%	0%	
到達目標5		特別な配慮（アレルギー対応など）を要するこどもの食と栄養について説明することができる。	60%	26%	10%	1%	3%	0%	
教育実践演習	教職実践演習A	到達目標1	保育科における自己の学びを振り返り、身に付けた保育者としての知識・技術を説明することができる。	67%	17%	6%	0%	11%	0%
		到達目標2	保育者として求められる判断力と倫理観がどのようなものかを自己との関係で説明することができる。	61%	22%	0%	0%	0%	17%
		到達目標3	自らの体験や収集した情報に基づき、保育の現状を分析し、その課題について具体的に説明することができる。	11%	11%	0%	0%	0%	78%
		到達目標4	自己の保育観を確立し、保育者として成長していくために必要な課題を説明することができる。	11%	11%	0%	0%	0%	78%
	教職実践演習B	到達目標1	保育科における自己の学びを振り返り、身に付けた保育者としての知識・技術を説明することができる。	73%	19%	4%	0%	0%	4%
		到達目標2	保育者として求められる判断力と倫理観がどのようなものかを自己との関係で説明することができる。	73%	19%	4%	0%	0%	4%
		到達目標3	自らの体験や収集した情報に基づき、保育の現状を分析し、その課題について具体的に説明することができる。	73%	19%	4%	0%	0%	4%
		到達目標4	自己の保育観を確立し、保育者として成長していくために必要な課題を説明することができる。	73%	19%	4%	0%	0%	4%
	教職実践演習C	到達目標1	保育科における自己の学びを振り返り、身に付けた保育者としての知識・技術を説明することができる。	52%	38%	10%	0%	0%	0%
		到達目標2	保育者として求められる判断力と倫理観がどのようなものかを自己との関係で説明することができる。	52%	38%	10%	0%	0%	0%
		到達目標3	自らの体験や収集した情報に基づき、保育の現状を分析し、その課題について具体的に説明することができる。	52%	38%	10%	0%	0%	0%
		到達目標4	自己の保育観を確立し、保育者として成長していくために必要な課題を説明することができる。	52%	38%	10%	0%	0%	0%
	教職実践演習D	到達目標1	保育科における自己の学びを振り返り、身に付けた保育者としての知識・技術を説明することができる。	70%	26%	0%	0%	0%	4%
		到達目標2	保育者として求められる判断力と倫理観がどのようなものかを自己との関係で説明することができる。	70%	22%	4%	0%	0%	4%
		到達目標3	自らの体験や収集した情報に基づき、保育の現状を分析し、その課題について具体的に説明することができる。	70%	26%	0%	0%	0%	4%
		到達目標4	自己の保育観を確立し、保育者として成長していくために必要な課題を説明することができる。	70%	26%	0%	0%	0%	4%
	教職実践演習E	到達目標1	保育科における自己の学びを振り返り、身に付けた保育者としての知識・技術を説明することができる。	63%	34%	3%	0%	0%	0%
		到達目標2	保育者として求められる判断力と倫理観がどのようなものかを自己との関係で説明することができる。	53%	25%	9%	0%	0%	13%
		到達目標3	自らの体験や収集した情報に基づき、保育の現状を分析し、その課題について具体的に説明することができる。	9%	6%	3%	3%	0%	78%
		到達目標4	自己の保育観を確立し、保育者として成長していくために必要な課題を説明することができる。	9%	6%	6%	0%	0%	78%
教職実践演習F	到達目標1	保育科における自己の学びを振り返り、身に付けた保育者としての知識・技術を説明することができる。	85%	9%	3%	0%	0%	3%	
	到達目標2	保育者として求められる判断力と倫理観がどのようなものかを自己との関係で説明することができる。	85%	9%	3%	0%	0%	3%	

		到達目標3	自らの体験や収集した情報に基づき、保育の現状を分析し、その課題について具体的に説明することができる。	85%	9%	3%	0%	0%	3%
		到達目標4	自己の保育観を確立し、保育者として成長していくために必要な課題を説明することができる。	85%	9%	3%	0%	0%	3%
教育・福祉の相談・援助	幼児理解の理論と方法	到達目標1	幼児理解の意義を理解する。	61%	30%	5%	2%	1%	0%
		到達目標2	幼児理解から発達や学びを捉える原理を理解する。	56%	34%	6%	2%	1%	0%
		到達目標3	幼児理解を深めるための教師の基礎的な態度を理解する。	58%	34%	5%	1%	1%	1%
		到達目標4	観察と記録の意義や目的、目的に応じた観察法等の具体的な事柄を例示することができる。	59%	30%	8%	1%	1%	0%
		到達目標5	個と集団の関係を捉える意義や方法を理解する。	59%	30%	8%	0%	3%	0%
		到達目標6	幼児のつまずきを周りの幼児との関係やその他の背景から理解することができる。	59%	32%	6%	1%	1%	0%
		到達目標7	保護者の心情と基礎的な対応の方法を理解する。	54%	29%	10%	5%	3%	0%
	子どもの理解と援助	到達目標1	子ども理解についての知識を身に付け、考え方や基礎的な態度を理解する。	66%	25%	7%	1%	1%	0%
		到達目標2	子ども理解の方法を具体的に理解し、子どもを科学的な方法により観察ができる。	61%	32%	4%	1%	1%	0%
		到達目標3	観察と理論に基づき、子どもの心情、子ども間の関係、保護者の心情などを理解し、適切な対応を説明することができる。	63%	30%	6%	1%	1%	0%
教育・福祉の相談・援助	子ども家庭支援の心理学	到達目標1	子ども発達について基本的な知識を学び、体系的に説明することができる。	73%	22%	4%	2%	0%	0%
		到達目標2	家族・家庭の意義と機能が説明することができる。	73%	20%	5%	2%	0%	0%
		到達目標3	家族関係における構成員の年齢の変化とともに生ずる課題を理解し説明することができる。	73%	20%	6%	2%	0%	0%
		到達目標4	現代社会における子どもの精神保健や子育て家庭に係る課題を整理し説明することができる。	74%	19%	5%	2%	0%	0%
	子育て支援演習	到達目標1	地域の子育て支援の現状と課題を知る。	80%	20%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2	子育て支援の理念、方法について学ぶ。	60%	40%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3	子育て支援における保育者の役割について学ぶ。	80%	20%	0%	0%	0%	0%
	子育て支援の理論と方法	到達目標1	信頼関係に基づく子育て支援の特性・相談支援の意義と原則について理解している。	70%	26%	4%	0%	0%	0%
		到達目標2	保育士の行う子育て支援の展開について、状況把握・支援計画立案・実践・記録・評価のプロセス、職員間の連携、自治体・関係機関等との連携の重要性を理解している。	63%	34%	3%	0%	1%	0%
		到達目標3	相談支援の内容・方法・技術を理解している。	67%	29%	3%	0%	1%	0%
到達目標4		相談支援の実践について学び、事例への対応方法を提案することができる。	62%	34%	3%	1%	0%	0%	
国語	到達目標1	国語の基礎的な知識を習得できたか	54%	27%	13%	4%	1%	1%	
	到達目標2	現在の日本語の状況について知識を深めることができたか	56%	25%	10%	6%	1%	2%	
算数	到達目標1	1. 小学校における算数科について、その目標と指導内容の配当配列を理解する。	85%	8%	8%	0%	0%	0%	
	到達目標2	2. 算数科4領域のうち、特に「数と計算」「図形」の2領域の指導方法・評価方法について、参観や演習を通して主体的で1. 小学校における算数科について、その目標と指導内容の配当配列を理解する。	85%	8%	8%	0%	0%	0%	
	到達目標3	3. 授業の計画・実施・評価を、模擬授業を通して理解する。	85%	8%	8%	0%	0%	0%	
生活	到達目標1	園や学校、家庭や地域での生活など、子どもと関わりの深い身近な生活についての理解を深める。	82%	14%	4%	0%	0%	0%	
	到達目標2	子どもと自然の関わり、子どもの科学遊びなど、子どもの活動を自然科学的な観点から捉えることができる。	83%	12%	5%	0%	0%	0%	
音楽	到達目標1	音楽理論を通じて、保育及び教育の現場で活用するための基礎的な楽典の知識を習得する	72%	23%	3%	2%	0%	0%	
	到達目標2	ピアノを通じて、弾き歌いの技法や子どものための楽曲を学ぶ	73%	23%	2%	2%	0%	0%	
	到達目標3	歌唱を通じて、正しい発声法や子どものための楽曲を学ぶ	73%	22%	4%	1%	0%	0%	
	到達目標4	リズムアンサンブルを通じて、拍やリズムに関する感覚を伸ばし、読譜力を高める	72%	22%	5%	2%	0%	0%	
音楽Ⅱ (a・b・d)	到達目標1	ピアノによる弾き歌いの技能を向上させ、幅広いレパートリーを身に付ける。	71%	21%	7%	0%	0%	0%	
	到達目標2	コードについて理解を深め、演奏できるようにする。	64%	29%	7%	0%	0%	0%	
	到達目標3	移調について理解を深め、演奏に活かせるようにする。	61%	25%	14%	0%	0%	0%	
	到達目標4	子どもの歌唱表現を支えるための伴奏法及び歌唱法を身に付ける。	57%	32%	11%	0%	0%	0%	
教科・基礎技能	図画工作Ⅱ	到達目標1	造形指導に必要な画材・用具の取り扱いを理解する	75%	18%	3%	0%	0%	3%
		到達目標2	造形指導に必要な材料・素材の特徴・性質を理解する	69%	25%	2%	2%	0%	3%
		到達目標3	造形指導者としての造形の構造・仕組みを分析し応用する力を習得する	67%	25%	3%	2%	0%	3%
体育	到達目標1	体育の教養を深め、基礎理論を理解する。	86%	11%	3%	0%	0%	0%	
	到達目標2	実際の動きを通して、基礎運動能力を習得する。	87%	11%	2%	0%	0%	0%	
	到達目標3	様々な環境での運動理解を深める。	89%	10%	2%	0%	0%	0%	
		到達目標1	乳幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解している。	81%	17%	2%	1%	0%	0%

	子どもと人間関係	到達目標2	乳幼児の人間関係の育ちを豊かにすることの重要性を理解し、そのために必要な援助を行うことができる。	76%	21%	2%	2%	0%	0%
		到達目標3	教材や環境構成などの技術を用いて、幼児期の人と関わる力を育てるために必要な援助を行うことができる。	77%	20%	1%	2%	0%	0%
	子どもと環境	到達目標1	子どもをとり巻く環境の現状と課題について理解する。	80%	14%	5%	0%	0%	1%
		到達目標2	身近な自然との関わり、科学遊びのすすめ方、動植物の世話の仕方について理解する。	80%	14%	5%	0%	0%	1%
		到達目標3	生活に身近な文字や数字との関わり方、日本独自の伝統や文化の概要について理解する。	77%	16%	5%	0%	0%	1%
	子どもと言葉	到達目標1	幼児の言葉の発達や意義について理解できたか	72%	22%	1%	1%	0%	3%
		到達目標2	幼児の言葉の成長・発達の為の遊びや活動について理解できたか	72%	21%	1%	1%	1%	4%
		到達目標3	児童文化財としての絵本の意義は理解できたか	74%	19%	2%	1%	1%	3%
	子どもと表現	到達目標1	表現の源（始まり）を、子どもの成長の観点で考察し理解する。	65%	25%	9%	0%	0%	1%
		到達目標2	生活の中における表現のプロセスを、様々な表現の連続（連鎖）として考察し理解する。	65%	28%	6%	0%	0%	1%
		到達目標3	表現行為（表現活動）を、五領域における各領域との関係において考察し、表現の意味と役割を理解する。	68%	25%	5%	2%	0%	1%
		到達目標4	表現活動の役割と総合性を理解する。	60%	32%	7%	1%	0%	0%
学際	情報処理演習Ⅱ	到達目標1	短期大学卒の社会人として求められる情報処理の知識と実践力を習得する	0%	100%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2	Office365に含まれる汎用ソフトを一般事務レベルで使いこなせるようになる	0%	100%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3	自分の考えを人によりわかりやすく伝えるプレゼンテーション能力を習得する	100%	0%	0%	0%	0%	0%
	ショップデザイン	到達目標1	購買者の心を動かすネーミングやキャッチコピー、商品のストーリーやコンセプト作成の基本を学ぶ	80%	20%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2	広告を学習するために必要なグラフィックソフトのイラストレーター、フォトショップを学ぶ	60%	40%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3	実際に商品を販売するにあたり、必要な要素を学ぶことができる	100%	0%	0%	0%	0%	0%
小学校教育実習指導	小学校教育実習指導	到達目標1	小学校教育実習の意義、目的、内容、方法を理解する	81%	14%	3%	0%	0%	3%
		到達目標2	実習に求められる心構えを理解し、実習課題を明確化する	78%	17%	3%	0%	0%	3%
		到達目標3	実習記録の意義・方法を理解する	81%	14%	0%	3%	0%	3%
		到達目標4	実習校を理解する	78%	14%	0%	3%	3%	3%
		到達目標5	実習をもとに、新たな学習課題を明確化する	78%	14%	0%	6%	0%	3%
	幼稚園教育実習指導	到達目標1	実習の意義と目的を理解し幼稚園について総合的に理解している	71%	23%	5%	0%	0%	1%
		到達目標2	実習の内容を理解し、自らの課題を明確にしている	66%	29%	5%	0%	0%	1%
		到達目標3	大学での学びを総合し、保育の実践力を習得している	68%	28%	3%	1%	0%	1%
		到達目標4	保育者の専門性と職業倫理について理解している	65%	28%	5%	1%	0%	1%
		到達目標5	実習の総括と自己評価をもとに、新たな課題や学習目標を明確にしている	69%	23%	6%	1%	0%	1%
	幼稚園教育実習指導Ⅰ	到達目標1	実習の意義・目標および心得を理解する	65%	29%	5%	1%	0%	0%
		到達目標2	実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。	63%	31%	5%	1%	0%	0%
		到達目標3	実習施設の特性や人権、守秘義務等を理解する。	72%	20%	6%	1%	0%	1%
		到達目標4	実習の計画、実践、観察、評価の方法や内容について理解する。	66%	28%	5%	1%	0%	1%
		到達目標5	実習の総括と自己評価をもとに、新たな課題や学習目標を明確にする。	72%	20%	6%	1%	0%	1%
	保育実習指導Ⅰ（保育所）	到達目標1	実習の意義・目標および心得を理解する。	71%	23%	5%	0%	0%	1%
		到達目標2	実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。	66%	29%	5%	0%	0%	1%
		到達目標3	実習施設の特性や人権、守秘義務等を理解する。	68%	28%	3%	1%	0%	1%
		到達目標4	実習の計画、実践、観察、評価の方法や内容について理解する。	65%	28%	5%	1%	0%	1%
		到達目標5	実習の総括と自己評価をもとに、新たな課題や学習目標を明確にする。	69%	23%	6%	1%	0%	1%
	保育実習指導Ⅰ（施設）	到達目標1	保育実習の意義・目的を理解し、実習全体を説明できる。	65%	29%	5%	1%	0%	0%
		到達目標2	施設入所に至る経緯を理解し、子どもの人権や最善の利益を考慮する重要性が説明ができる。	63%	31%	5%	1%	0%	0%
		到達目標3	施設における保育士の職業倫理について理解し身につける。	72%	20%	6%	1%	0%	1%
		到達目標4	実習後の振り返りで保育士としての自らの課題を整理し改善策が説明できる。	66%	28%	5%	1%	0%	1%
	保育実習指導Ⅱ	到達目標1	保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解している	69%	25%	5%	1%	0%	0%
到達目標2		実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得している	65%	28%	5%	1%	0%	0%	
到達目標3		保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解している	67%	26%	6%	1%	0%	0%	
到達目標4		保育士の専門性と職業倫理について理解している	67%	27%	5%	1%	0%	0%	
到達目標5		実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、対する課題や認識を明確に保育に説明することができる	67%	27%	5%	1%	0%	0%	

区分	科目名	到達目標	到達目標達成度					
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効
卒業要件	社会人基礎力育成講座Ⅰ	到達目標1 生活拠点の”山梨”を知る。	66%	26%	6%	2%	1%	0%
		到達目標2 知的好奇心や探究心を持って学ぶ姿勢を形成する。	70%	22%	8%	1%	0%	0%
		到達目標3 現代社会を生きる上での見識や幅広い視野を獲得する。	70%	23%	6%	1%	0%	0%
		到達目標4 人や社会に対する奉仕的精神や倫理観を養う。	70%	24%	5%	0%	0%	0%
		到達目標5 地域社会の課題をとらえ、その解決に創造的に取り組む力を形成する。	70%	22%	7%	0%	1%	0%
	社会人基礎力育成講座Ⅱ	到達目標1 生活拠点の”山梨”を知る。	63%	32%	4%	1%	0%	0%
		到達目標2 知的好奇心や探究心を持って学ぶ姿勢を形成する。	64%	31%	6%	0%	0%	0%
		到達目標3 現代社会を生きる上での見識や幅広い視野を獲得する。	60%	36%	4%	1%	0%	0%
		到達目標4 人や社会に対する奉仕的精神や倫理観を養う。	60%	33%	6%	1%	0%	0%
		到達目標5 地域社会の課題をとらえ、その解決に創造的に取り組む力を形成する。	60%	33%	7%	0%	0%	1%

区分	科目名	到達目標	到達目標達成度							
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効		
教育・福祉の基礎理論	教育哲学	到達目標1	教育という営みが抱えている諸問題について、哲学的かつ批判的に考察する力（批判的思考力）を身に付ける。	64%	36%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標2	哲学的な考察を通して、日常的な教育の営みを捉え直すことができる。	64%	29%	7%	0%	0%	0%	
		到達目標3	自らの教育観を、教育学・哲学の概念を用いて表現することができる。	50%	50%	0%	0%	0%	0%	
	教育学特論	到達目標1	教育の歴史とその背景にある思想や社会状況の変化について理解を深め、今日の教育をめぐる様々な課題を多角的に捉えられるようになる。	86%	7%	7%	0%	0%	0%	
		到達目標2	現代における教育の動向を理解した上で、現代社会のなかで教育が果たすべき役割と今後の展望について、みずからの言葉で表現できるようになる。	86%	7%	7%	0%	0%	0%	
		到達目標3	上記を通して、よりよい教育を探究し続ける態度を養う。	86%	7%	7%	0%	0%	0%	
	社会福祉特論	到達目標1	子どもの権利条約の内容を理解し説明することができる	75%	25%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標2	子どもの権利条約と児童福祉法の関係が説明できる	75%	25%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標3	児童家庭福祉の専門機関である児童相談所の機能を具体的に説明できる	67%	33%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標4	児童家庭福祉における専門職と専門機関との連携について説明できる	75%	25%	0%	0%	0%	0%	
	教育・保育の計画・指導法	保育学特論	到達目標1	1. 保育の基本的概念を理解し、それを用いて自己の保育観を表現することができる。	61%	35%	0%	0%	0%	4%
			到達目標2	2. 保育の理念及び思想を理解し、それに基づく保育実践を構想することができる。	57%	43%	0%	0%	0%	0%
到達目標3			3. 保育の歴史的展開を理解し、その中に保育者としての自己を位置づけることができる。	57%	39%	0%	0%	0%	4%	
臨床心理学特論		到達目標1	心理的諸症状の特徴と背景を理解する。	57%	38%	5%	0%	0%	0%	
		到達目標2	心理的問題把握の査定法を体験的に習得する。	52%	33%	10%	0%	5%	0%	
		到達目標3	心理療法の理論と方法を、事例に即して理解する。	62%	33%	5%	0%	0%	0%	
		到達目標4	ロールプレイ等の体験を通じて、supportiveな関与のための基本態度を理解する。	43%	24%	24%	0%	10%	0%	
国際教育社会特論		到達目標1	グローバル化の進展により、国境を越えた人、モノ、資本、文化などの移動が加速している現代社会の姿について理解する	93%	7%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標2	そのようなグローバル化の進展が学校教育にもたらす影響と課題について理解する	100%	0%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標3	日本や諸外国における、社会の変化に対応した教育の動向についての知識を習得する	79%	21%	0%	0%	0%	0%	
教育課程特論		到達目標1	教育課程について知識を理解・習得する	67%	29%	4%	0%	0%	0%	
		到達目標2	学力、授業づくり、評価等についての広域の概念を理解・習得する	79%	21%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標3	授業スキル向上のための知識と方法を学ぶ	71%	29%	0%	0%	0%	0%	
算数科教育法特論		到達目標1	小学校における算数科について、その目標と指導内容の配当配列を学ぶ。	70%	25%	0%	0%	0%	5%	
		到達目標2	算数科4領域のうち、特に「数と計算」「図形」の2領域の指導方法・評価方法について、授業参観や演習を通して学ぶ。	65%	30%	0%	0%	0%	5%	
		到達目標3	授業の計画、実施、評価を模擬授業を通して理解する。	75%	20%	0%	0%	0%	5%	
		到達目標4	教育実習時に算数科の授業において、学習指導案や教材を作成し、実際に授業を行う中で授業評価力を身に付ける。	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
体育科教育法特論		到達目標1	生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育て、健康の保持増進と体力向上を図り、楽しく明るい生活を営むための態度を育む体育授業のあり方を学ぶことができる。	79%	21%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標2	適切な運動の経験と健康・安全への理解が生涯スポーツの実践の基礎力となることを理解し、そういった力を育むための体育授業を計画・実施できるよう、指導案の作成・授業の展開について具体的な作業や資料をもとに学ぶことができる。	75%	25%	0%	0%	0%	0%	
保育内容特論（健康）		到達目標1	今日の子どもの健康安全の現状と課題について理解する。	83%	17%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標2	子どもの健康安全の実践力を育成するための具体的な支援の方法について理解する。	67%	33%	0%	0%	0%	0%	
保育内容特論（人間関係）		到達目標1	「人間関係」のねらい及び内容について理解する。	56%	33%	11%	0%	0%	0%	
		到達目標2	「人間関係」に関わる幼児の発達・学びの過程について理解する。	67%	22%	11%	0%	0%	0%	
		到達目標3	「人間関係」に関わる保育を具体的に構想するための方法を身に付ける。	78%	11%	11%	0%	0%	0%	
保育内容特論（環境）		到達目標1	子どもに身近な自然や環境について理解する。	83%	17%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標2	子どもの自然や環境との関わりを深めるために必要な支援の方法について理解する。	67%	33%	0%	0%	0%	0%	
保育内容特論（言葉）		到達目標1	子どもの言葉の育ちや発達の為の方法や手立てについて理解できたか	79%	14%	0%	0%	0%	7%	
		到達目標2	子どもの言葉の育ちや発達の為の方法や手立てが身に付いたか	64%	29%	0%	0%	0%	7%	
教育・福祉の相談・援助		家庭問題特論Ⅱ	到達目標1	現代社会における家族と子どもの問題について、実感的問題意識を持つ。	93%	7%	0%	0%	0%	0%
			到達目標2	家庭と子育ての問題を、我が国の少子化対策の関連で学び、大局的視野を持つ。	86%	14%	0%	0%	0%	0%
	到達目標3		子育てを支援する保育者としての使命感を養う。	86%	14%	0%	0%	0%	0%	

	教育相談	到達目標1	教育相談における援助技法を体験的に理解する。	71%	29%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2	教育相談事例を深く考察し、援助方針を模索する多面的な視点を養う。	79%	21%	0%	0%	0%	0%
教科	生活科概論 (非常勤)	到達目標1	「生活科」の基本的な考え方を理解する	83%	17%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2	小学校学習指導要領の「生活科」の目標と内容を理解する	79%	21%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3	単元目標を達成するための指導計画や授業の展開の仕方を理解する	79%	21%	0%	0%	0%	0%
		到達目標4	生活科を展開するための指導者の心構えを理解する	83%	17%	0%	0%	0%	0%
	音楽科概論	到達目標1	初等科音楽科の教材に関する知識及び技能を身に付ける	57%	30%	13%	0%	0%	0%
		到達目標2	西洋音楽史における音楽作品や日本の音楽についての知識及び技能を身につける	61%	30%	9%	0%	0%	0%
		到達目標3	幼児教育と初等教育の接続の課題を理解し、保幼小接続のプログラムを考案する	61%	39%	0%	0%	0%	0%
研究	教育研究 法	到達目標1	教育や福祉の問題を探求するための研究方法を習得する。	43%	29%	24%	5%	0%	0%
		到達目標2	質的・量的データの収集方法を習得する。	43%	38%	19%	0%	0%	0%
		到達目標3	統計学的なデータ処理について修得する。	48%	38%	14%	0%	0%	0%